

会報

よろこび

発行 茨城よろこびの会

<http://www.ibasouken.org/yorokobi.html>

第71号

平成 25 年 1 月 1 日発行



福寿草：花言葉『幸福を招く』

新年あけましておめでとうございます

茨城よろこびの会 会長 飯田 則子

会員の皆様はお正月をいかがお過ごしでしょうか。

希望に満ちた明るい 1 年でありますよう、祈っております。昨年秋、ノーベル賞を受賞されました京都大学の山中 伸弥教授の iPS 細胞（人工多能性幹細胞）が注目されています。研究の成果が一日も早く実用化されますことを願っております。（安島 光二名誉会長が iPS 細胞について本誌 P.4～5 で詳しく書いています）又、がんの新薬が承認され恩恵にあずかっている方々もいらっしゃることは大変嬉しい限りです。

「患者会（当会）がこんなに長く存続するとは、発足当時は思ってもみなかった。」と安島名誉会長が話しておられましたが、悪性腫瘍の罹患率は依然、右肩上がりとなっています。県の報告（※）では、9,767 人（男性 5,777 人、女性 3,990 人）が 1 年間で新たに「がん」に罹患し、実際にはそれを大きく上回る罹患者が推計されると記載されていました。私達の小さな活動で何が出来るのだろうか？と考え込んでしまう時もあります。

そこで、私からの提唱です。今年は会員一人一人が周りの方々（目標 20 人以上！）に定期検診のお勧めの“声かけをする”これを展開してはどうでしょうか。「検診？やったこと無い！」「8 年も検診は行っていない！」などの声をまだまだ耳にします。おしゃべりや色々な集会の場で検診の啓発をしてみませんか？ご自分の体を労りながら、社会の動きに関心を持ち、賢く毎日を過ごしましょう。

平成 25 年 元旦

※H17 年 茨城県地域がん登録より